

地域内経済循環分析及び継続体制構築業務 成果報告書 (本編)

1. 産業構造分析に向けたアンケート等調査支援・実施

2015年宮古島市産業連関表及び2020年宮古島市産業連関表の作成に向け、経済センサスなどの基幹統計及び独自アンケート結果を活用する、すなわちサーベイ法とノンサーベイ法のハイブリッド法を採用することを決定した。

基幹統計データの取得、アンケート対象事業者のリストアップ、アンケート個票の作成、アンケートの実施、アンケート結果の集計及び産業連関表作成の全体スケジュールを定め、スケジュールに沿って業務を進めた。

アンケートは、産業別に最適化した15種類の個票を作成し、用紙等の印刷・発送業務は市内印刷業者に依頼して市内4,139事業者に郵送した。未回答者へのリマインドを適宜行い、回収率の確保に努めた。

2. 産業構造分析に必要となる各種統計データの取得整理

産業連関表作成にあたっては、以下の統計や公表資料を活用した。

- ・ 生産農業所得統計における市町村別産出額
- ・ 農林業センサス
- ・ 最近5カ年間漁業別水揚高表
- ・ 経済センサス
- ・ 国勢調査
- ・ 学校基本調査報告書
- ・ 市町村決算カード
- ・ 県表（事務用品及び分類不明以外の生産額比率）

3. 事業者への周知に関する助言・支援

アンケート調査実施の事業者への周知について、市との打ち合わせの中で、島根県海士町等で講演会や説明会、広報誌やローカルテレビの活用、YouTubeなど様々な方法を活用してきた事例を紹介。事業者が所属している主だった組織である商工会や商工会議所、または影響力のある組織に対して説明を行うことでアンケート回収精度を上げた実績を伝えるなど、周知文書の作成、周知方法の決定に寄与した。

4. 市独自の産業連関表作成・経済構造分析

アンケート結果や基幹統計データ等を活用して、2015年宮古島市産業連関表及び2020年宮古島市産業連関表を作成し、それぞれの年における投入・産出構造、経済の循環構造、生産額構成比、移輸出と地域内獲得額、粗付加部門の構成比を分析し、2015年と2020年の比較も行った。

詳細は、地域内経済循環分析及び継続体制構築業務成果報告書（産業連関表の開発と分析）に記載している。

5. ステークホルダーとの情報共有手法の検討・支援

ステークホルダーとしては、市民や事業者、市や県などの自治体関係者が想定される。作成した産業連関表から分かることを講演会や説明会で説明し、ワークショップを併せて実施することで地域経済の実態や考え方を共有知として広めること、ワークショップへの参加者が主体的に課題解決に取り組むようになることが望ましい。

市との打ち合わせの中で、宮城県気仙沼市で、産業連関表の分析結果を活用したワークショップを実施することで、参加者からビジネスの種となるアイデアが生まれてきている等の事例を紹介することで、ステークホルダーとの情報共有手法の検討に寄与した。

6. 持続的な運営に向けた仕組みづくりに係る検討・支援

地域経済を良い循環にしていくためには、自治体職員を始め、市民を巻き込むことが必須である。ワークショップを通して、自分事化し、プロジェクトを作り、小さな成功体験を積み重ねることが大きな成果につながる。

市との打ち合わせの中で、ワークショップを契機に生まれた市民の取り組みから、地元産の大豆を原料とした豆腐の販売を実現した事例等を紹介し、持続的な運営に向けた仕組みづくりに係る検討に寄与した。

7. 次年度に向けた課題整理と報告書作成

「宮古島市の地域経済循環率の向上に向け、本市産業の構造を分析し、地域経済の流出に関して、原因も含めて把握することにより、対策に向けたプロジェクト立案や目標設定・共有化を図りながら、市民や事業者と一体となって、取り組みを進めていく仕組みづくりを行う」という本業務の目的を鑑み、産業連関表を活用して地域経済循環を高めていくためのワークショップ実施からのプロジェクトの立ち上げ、プロジェクト実行を支える人材発掘・育成が必要であると整理し、報告書にまとめた。

詳細は、地域内経済循環分析及び継続体制構築業務成果報告書（産業連関表の開発と分析）に記載している。

打ち合わせ記録

日付	内容
6月3日	<ul style="list-style-type: none">・産業連関表作成の流れ・公的データ取得方法・調査対象事業者確認・アンケート実施方法検討・産業連関表の活用方法検討・情報共有の仕組みづくり検討
6月24日	<ul style="list-style-type: none">・公的データ取得状況確認・アンケート作成状況確認
7月19日	<ul style="list-style-type: none">・公的データ取得状況確認・アンケート実施スケジュール調整・事業者への周知方法検討・情報共有、情報活用の仕組みづくり検討
8月30日	<ul style="list-style-type: none">・公的データ取得状況確認・情報共有、情報活用の仕組みづくり検討
9月7日	<ul style="list-style-type: none">・公的データ取得状況確認・産業連関表の活用方法検討
9月28日	<ul style="list-style-type: none">・公的データ取得状況確認・産業連関表の活用方法検討
11月21日	<ul style="list-style-type: none">・アンケート回収状況確認・アンケートへの問い合わせへの対応方法確認
12月23日	<ul style="list-style-type: none">・アンケート回収状況確認・産業連関表の活用方法検討
2月7日	<ul style="list-style-type: none">・産業連関表の活用方法検討
2月22日	<ul style="list-style-type: none">・今年度業務の成果確認・産業連関表の活用方法検討